

幸手市

郷土資料館ニュース

夏号



開催中の企画展

7月18日(月・祝)
まで開催中

「幸手の土器～土器からみえる 人びとの暮らし～」

市内の遺跡で出土した土器からわかる、当時の人びとの暮らしについて展示しています。原始古代の幸手の姿を、のぞいてみましょう。



○企画展関連イベント「拓本体験」

縄文土器などに紙をはり、墨で文様（もんよう）を写しとる「拓本（たくほん）」を体験してみよう。

日時：令和4年7月2日（土）

午前 ①10時～ ②10時30分～ ③11時～

午後 ④13時30分～ ⑤14時～ ⑥14時30分～

作業時間：約20分 1回の定員5名程度

受付：6月23日（木）午前9時～

郷土資料館へ電話（先着順）☎47-2521

※当日空きがある場合に限り、当日参加も可能

拓本はしおいに
持ち帰ることができます！



※新型コロナウイルス感染拡大状況によって、上記の内容等は変更する場合があります。

収蔵品紹介

企画展で展示中
7月18日(月・祝)まで

土師器 (はじき)

縄文土器 (じょうもんどき) や弥生土器 (やよいどき) は有名ですが、次の古墳時代 (こふんじだい) に作られていた土器はなんと呼ぶのでしょうか？

答えはこちら「土師器 (はじき)」です



小型壺 (こがたつぼ)

高さ 15 cm ほどの小さな壺。酒などの貴重なものを入れていたのかもしれません。

特 徴

土師器は、縄文土器や弥生土器と同じく赤茶色をしています。飾りや模様はなく、シンプルな形をしています。



坏 (つき)

現在のお茶碗のように使われていました。



碗 (わん)

墨 (すみ) がたれた跡があります。文字などを書くときに、墨をためておくパレットのように使っていたのかもしれません。



内側にも墨のあとがあります

幸手市郷土資料館

住 所： 幸手市大字下宇和田 58 番 4

電 話： 0480-47-2521

開館時間： 午前 9 時から午後 5 時まで

休 館 日： 月曜日と 7 月 19 日 (火) ただし 7 月 18 日 (月・祝) は開館

郷土資料館の詳細
い情報はこちらで
ご確認ください。



幸手市ホームページ
QRコード